

今年度のごみ排出目標は、ひとり1日567グラム 3Rで生ごみ減量をしよう!



【問合わせ】クリーンセンター ☎23-3567

家庭から排出されるごみの約30%を占める生ごみ。資源の分別と合わせて、ごみの減量には生ごみの減量が欠かせません。生ごみ減量のためのポイントを3Rに合わせてご紹介し
ます。



ポイント1

リデュース

Reduce (ごみを減らす)

【生ごみ減量のための5つの工夫】

- ①食材を買うときは、食べられる分だけ買いましょう。
- ②料理は食べられる分だけ作り、残さず食べましょう。
- ③生ごみは、捨てる前にひと絞りして水気を減らしましょう。
- ④冷蔵庫内の整理をして、食品量が把握できるようにしましょう。
- ⑤残った食材は、別の料理へ活用しましょう。



ポイント2

リユース

Reuse (必要とする人へ)

【おすそわけ】

料理した際に、主食やおかずが思ったよりも多くできてしまったときは、おとなりさんへ「おすそわけ」しましょう。料理の無駄もなくなり、ご近所付き合いもよくなります。



ポイント3

リサイクル

Recycle (再生して利用する)

【堆肥化でリサイクル】

料理をするとき、生ごみはどうしても出てしまいます。生ごみも処理機や堆肥化容器を活用すれば、立派な堆肥へと生まれ変わります。市では、生ごみ処理機などの購入者へ補助金を支給しています。ぜひご活用ください。

■補助内容

品名	補助金額	補助上限額	補助基数
生ごみ処理機	購入金額の 3分の2	15,000円	1世帯1基まで
堆肥化容器		6,000円	1世帯2容器まで
EM容器			

また、生ごみ処理機でできた乾燥堆肥を、トイレトペーパーと交換する事業も行っています。詳しくは、クリーンセンターへお問い合わせください。



▲生ごみ処理機



▲生ごみ堆肥化容器